

一位ヶ岳

学校だより 令和3年度12月号
長門市立**俵山**小学校



〈チャレンジ目標〉地域に私たちの元気を届けよう 何ごとにもチャレンジしよう

第17代子ども歌舞伎・ミニ歌舞伎披露

11月7日（日）に、地域参観日として、第17代子ども歌舞伎・ミニ歌舞伎を披露しました。4～6年生による歌舞伎は今年度2回目、1～3年生によるミニ歌舞伎は初めての披露でした。1年生にとっては初めて、6年生にとってはこれが最後の歌舞伎披露となりました。



いつもより少し早く登校した児童は、いつもとは違った雰囲気でお番までの時間を使いました。およそ1時間かけて、化粧をして仕上げ、衣装を整えるながら開演までを過ごします。

気が付くと、グラウンドに地域の方や保護者の車が入ってきてあっという間にいっぱいになりました。体育館には100名のお客様に入場いただきました。



9月から少しずつ稽古を行い、セリフを覚えたり、立ち位置



や動作を何度も確認したりしてきました。それぞれが心を整えて、体験できない時間を味わいました。

ミニ歌舞伎「知らざあいつてきかせやしよう」の本番は、これまでで一番の演技ができました。大きな声を体育館いっぱい響かせながら、歌舞伎特有の抑揚を表現しました。

子ども歌舞伎「白浪五人男」では、稽古で工夫した振り付けを各自が意識しながら、堂々とした上級生らしい演技を披露しました。

地域の皆様には多数ご来場いただいて、熱心に鑑賞していただき、温かい拍手をいただきました。児童はそれぞれ、この日までにいろいろな思いをもって取り組んできました。大きな一歩を進めることができたと思っています。

ご指導・ご支援いただきました俵山女歌舞伎保存会の皆様、早朝から着付けを手伝っていただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



みんなでチャレンジ！ 一位ヶ岳

10月15日（金）に、全校児童と保護者有志で一位ヶ岳登山遠足を行いました。当日は、朝9時に口バの本屋前を出発し、およそ2時間半で頂上に全員が到着。途中の急坂もがんばって歩き、同行した教員や保護者を心配して声をかける思いやりもみせてくれました。そして、自然をしっかりと感じる事ができました。



まさに秋晴れの真っ青な空で、長門の海はもちろんのこと、遠くの島までよく見え、まさに絶景でした。山頂からは学校の体育館や人が小さく見え、景色を細かくみているような発見がありました。

その後、おいしいお弁当やおやつを食べたり、レクリエーションをしたりしながら、楽しみました。下山にも1時間以上かかりましたが、一歩ずつ踏みしめながら成長できた一日となりました。同行していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

人権教育参観日

10月19日に「人権教育参観日」を行い、多数の保護者・学校運営協議会の皆様に道德等の授業を参観していただきました。それぞれの学年にあわせて、「親切」「思いやり」「いじめ」などをテーマにした授業を展開しました。

また、依山温泉ゲストハウス「ねる山」・若女将の 岩田 悠 様にご講演をいただきました。岩田様は長門市地域おこし隊として依山にいらっしゃいましたが、依山の魅力を写真や映像を使って分かりやすく伝えていただきました。また、国際協力機構 JICA にお勤めの経験から、外国と日本の文化や習慣の違いをクイズ形式で教えていただき、参加者一同が「人権」を改めて考える機会を与えてくださいました。



12月の詩

白い帽子
ぼうし

金子みすゞ

白い帽子、
あつたかい帽子、
惜しい帽子。

でも、もういいの、
失くしたものは、
失くしたものは、
失くしたものは、

けれど、帽子よ、
お願いだから、
溝みぞやなんぞに落ちないで、
どこぞの、高い木の枝に、
ちよいとしなよくかかってね、
私わたしみたいに、不器ぶきつちよで、
よう菓すをかけぬかわいそな鳥の、
あつたかい、いい菓すになつておやり。

白い帽子、
毛糸の帽子。

出典『金子みすゞ全集』

JULA出版局

【依山の皆様へ ～お礼～】

先日、学校水田で収穫しました、もち米の販売をいたしましたところ、完売しました。ご協力ありがとうございました。